TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE UNIFIED DATA PROTECTION

# Arcserve® Unified Data Protection v6.5 Agent for Windows 環境構築ガイド インストール~ベアメタル復旧編

Rev1.2

2018年11月



目次

はじめに	
1. イン	マストール2
1.1	インストール2
1.2	ライセンスキーの登録8
1.3	修正ファイルの適用
2. バ <b>ツ</b>	クアップ運用の開始10
2.1	バックアップ設定
3. バッ	クアップ スケジュールの設定14
3.1	バックアップ スケジュールの設定例14
4. ベア	'メタル復旧16
4.1	復旧メディアの作成
4.2	ベアメタル復旧の実行
5. 製品	情報と無償トレーニング情報
5.1	製品情報および FAQ はこちら
5.2	トレーニング情報

#### <更新履歴>

2017/09 初版リリース (Rev1.0)

2018/04 更新版リリース (Rev1.1)

2018/11 更新版リリース (Rev1.2)

注意:この資料は2018年11月1日現在の製品をもとに記述しています。すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、 各社の商標、または登録商標です。本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対し て一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性 または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」 提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されま せん)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けて いた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright  $\odot$  2017-2018 Arcserve, LLC and/or one of its subsidiaries. All rights reserved.

## はじめに

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記) Agent は、小中規模なコンピューティング環境のデータ保護ニーズ に焦点を合わせた非常に「簡単」かつ「手頃」なディスクベースのシステム保護ソリューションです。

導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めるとほとんど専門知識や手間をかける必要がないため、バックアップ運用管理者の手薄な地方拠点や小規模な部門でも安心してお使いいただくことができます。本ガイドでは、サーバ管理やバックアップ運用経験の少ない方でも、簡単に UDP Agent の環境構築を行っていただけるよう、ステップバイステップでインストールからベアメタル復旧までの手順を説明しています。



UDP Agent は保護対象のマシンに直接インストールする製品です。バックアップ先のディスクには内蔵・外付けのディス クの他、NAS などリモートの共有フォルダを使用できます。共有フォルダを使用する構成では、保護対象サーバからみて Windows の共有フォルダとしてアクセスできるのであれば、デバイスの形式は問いません。

内蔵ディスクが1本しかない構成や、サーバ内にバックアップのための容量を確保できない構成では、NASなどのリモートの共有フォルダをバックアップ先に使用する運用が効果的です。管理 GUI は WEB 形式なので、ブラウザが使用できる環境ならば、保護したいサーバにアクセスするだけでバックアップ状況を確認することができます。

台数が多い環境では「UDP管理コンソール」からすべてのサーバを一元管理する運用もできます。バックアップ対象ノードに UDP Agent をリモートでインストールしたり、バックアップの設定(プラン)を一斉に配信することもできます。 UDP管理コンソール利用時は、バックアップ先として「復旧ポイントサーバ」も利用できます。これにより、バックアップデータの重複排除や、遠隔地への転送機能が提供されます。また、負荷のかかるマージやカタログ作成処理を UDP Agent に代わって復旧ポイントサーバ側で実行することができるため、保護対象サーバやネットワークへの負荷を低減できます。

UDP 管理コンソールや復旧ポイントサーバの導入については、下記の環境構築ガイドをご参照ください。 https://arcserve.com/jp/wp-content/uploads/2018/11/udp\_v65\_console\_install\_guide.pdf

## 1. インストール

説明手順は、ご使用の環境により一部手順が異なる場合がありますのでご注意ください。 インストールの必要なディスク要件は、環境により異なりますので下記動作要件をご参照下さい。 動作要件の参照先:https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja

## 1.1 インストール

(1) [インストールの開始]

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記)の Agent をインストールするコンピュータに、 Administrator または Administrators グループのユーザでログオンします。「Arcserve Unified Data Protection」 インストール メディアをセットし、ドライブのルートフォルダからセットアップ ファイル [setup.exe]を実行します。セットアップ ウィザードが開始されます。

(2) [セットアップ言語の選択]

[Japanese / 日本語] を確認し、[OK] をクリックします。

セットアップ	言語の選択			×
12	言語を選択します。			
	Japanese / 日本語		~	
	ОК	キャンセル		

(3) [使用許諾契約]

使用許諾契約を最後まで読み、同意する場合は [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し [次へ] を

クリックします。



(4) [インストールタイプの選択]

[インストールするコンポーネントの選択] で、[Arcserve Unified Data Protection – エージェント] が 選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セット	
arcserve	unified data protection
<ul> <li>使用非耗契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーション フォルダ</li> <li>環境設定</li> <li>ファイアウォールの例外</li> <li>メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> </ul>	インストール タイプの選択: 標準インストール インストールするコンポーネントの選択: Arcserve Unified Data Protection - エージェント (Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。)
インストール レポート	Arcserve Unified Data Protection - フル (Arcserve UDP ユンソール、復日ポイントサーバ、および エージェント が含まれます。)
<u>製品情報</u> リリースノート ナレッジ センター	✓ Arcserve UDP Iージェント 変更トラッキングドライバをインストールする(T) このドライバは、このシステムの増分パックアップを集行する場合に必要です。ただし、このシステムが仮想スタンバイモニタまたはホスト ペース VM パックアップ プロキシとしてのみ 使用される場合は必要ありません。
パージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(5) [デスティネーション フォルダの選択]

インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ			
arcserve	unified data p	rotection		
<ul> <li>✓ 使用許諾契約</li> <li>✓ インストールの種類</li> <li>→ デスティネーション フォルダ</li> </ul>	デスティネーション フォルダの済 C:¥Program Files¥Arcserve¥U	【訳: Inified Data Protection¥		参照(0)
環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 製品情報 <u>リリースノート</u> ナレッジ センター	必要な領域: Cで使用可能な容量:	1.89 GB 13.90 GB		
パージョン 6.5 (ビルド 4175)			< 戻る(B) 3	Rへ(N) > キャンセル

(6) [環境設定]

使用するプロトコルを「HTTPS」または「HTTP」から選択します。ここでは、HTTPを選択します。 また、Windows ファイアウォールに登録するポート番号を確認します。

デフォルトで設定されるポート番号は「8014」です。ここで登録したポート番号を使用して、UDP Agent の 操作をリモートのブラウザからも行うことができます。バックアップに使用する Windows 管理者の名前 [ユ ーザ名] を確認し、[パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セ	ットアップ	
arcserve	• unified data protectio	n
<ul> <li>◇ 使用許諾契約</li> <li>◇ インストールの種類</li> <li>◇ デスティネーション フォルダ</li> <li>&gt;&gt; 環境設定</li> <li>&gt;&gt; オアウォールの例外</li> <li>&gt;&gt; シャセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの通捗状況</li> <li>インストールの通捗状況</li> <li>インストールレポート</li> </ul>	<ul> <li>環境設定</li> <li>プロトコル:</li> <li>⑦ 注:より安全な通信のためには、HTTPS のが</li> <li>エージェントボート:</li> <li>管理者権限のあるアカウントを指定する</li> <li>ユーザ名: パスワード:</li> <li>パスワード:</li> <li>Arcserve UDP エージェントモニタの表示:</li> </ul>	HTTP HTTPS HTTP 8014
パージョン 6.5 (ビルド 4175)		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(7) [ファイアウォールの例外]

利用するプログラムを Windows ファイアウォールの例外として登録します。

内容を確認し、[次へ]をクリックします。

arcserve	unified data	protection
<ul> <li>使用許諾契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーションフォルダ</li> <li>環境時定</li> </ul>	<b>ファイアウォールの例外</b> 以下のブログラムを Windows	ファイアウォールの例外として登録します:
◆ ファイアウォールの例外	サービス/プログラム	192
メッセノージ	AFD2DMonitor.exe	C: ¥Program Files ¥Arcserve ¥Unified Data Protection ¥Engine ¥BIN ¥AFD2DMonitor.exe
#	HATransServer.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransServer.exe
17V)	HATransCloudServer.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransCloudServer.exe
インストールの進捗状況	ARCUpdate.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Update Manager¥ARCUpdate.exe
<mark>製品情報</mark> リースノート ナレッジ センター		

(8) [メッセージ]

セットアップの検証が完了し、インストールの準備が整いました。

[次へ] をクリックして進めます。

Arcserve Unified Data Protection セッ	า พิพิม
arcserve	unified data protection
<ul> <li>◇ 使用許諾契約</li> <li>◇ インストールの種類</li> <li>◇ デスティネーションフォルダ</li> <li>&gt;&gt; 環境設定</li> <li>◇ ファイアウォールの例外</li> <li>&gt;&gt; メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの道捗状況</li> <li>インストールレポート</li> </ul>	<b>メッセージ</b> セットアップによる検証が完了し、選択されたコンボーネントをインストールする準備が整いました。
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	
パージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(9) [サマリ]

サマリ内の設定項目が正しければ [インストール] をクリックし、インストールを開始します。 もし相違があれば [戻る] をクリックして前に戻り、再設定します。

Arcserve	Unified	Data	Protection	ヤットアップ
----------	---------	------	------------	--------

arcserve	unified data protection	1
<ul> <li>◆ 使用許諾契約</li> <li>◆ インストールの種類</li> <li>◆ デスティネーション フォルダ</li> <li>◆ 環境設定</li> <li>◆ ファイアウォールの例外</li> <li>◆ メッセージ</li> <li>◆ サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> <li>インストール レポート</li> </ul>	<b>サマリ</b> (インストール)をクリックして以下の設定でインストーノ  Arcserve Unified Data Protection インストール パス 通信プロトコル  Arcserve UDP エージェント ホート番号 ドライバのインストール	Lを開始するか、[戻る] をクリックして設定を変更します。 C×VProgram Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥ HTTP 8014 はい
製品情報 リリースノート ナレッジ センター		
パージョン 6.5 (ビルド 4175)		< 戻る(B) イソストール(I) キャンセル

(10) [インストールの進捗状況]

インストール全体の進捗状況を確認します。

urcserve Unified Data Protection セットア <b> <b>     OICSETVE</b><sup>®</sup> </b>	unified data protection
<ul> <li>使用許諾契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーション フォルダ</li> <li>環境設定</li> <li>ファイアウォールの例外</li> <li>メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況 インストールレポート</li> </ul>	<b>主な新概能</b> <ul> <li>ディザスタリカルジのテストおよびレポートの改善</li> <li>クラウド デブリケーション データの保護を改善</li> <li>クラウド デスティネーションの新規オプション</li> <li>1 拡張プラットフォーム サポート</li> </ul> * ご使用のマシンに Arcserve ライセンス 2.10をインストールています。
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	

(11) [インストール レポート]

「インストールが完了しました」のメッセージを確認し、[完了] をクリックします。

デフォルトでは、[更新を今すぐ確認する] にチェックが入っています。

[更新を今すぐ確認する] チェック ボックスを選択すると製品の更新を確認することができ、

最新の状態にすることができます。

. - -

Arcserve Unified Data Protection セット	רשע (אין אין אין אין אין אין אין אין אין אין
arcserve	unified data protection
<ul> <li>使用許諾契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーションフォルダ</li> <li>環境設定</li> <li>ファイアウォールの例外</li> <li>メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> <li>インストールレポート 更新の確認2</li> </ul>	<ul> <li>◆ インストールが完了しました。</li> <li>Arcserve Unfied Data Protection 製品は正常にインストールされました。</li> <li>✓ 更新を今すぐ確認する(C)</li> <li>インストールウィザードを終了するには、「完了」をグリックしてください。</li> <li>Arcserve UDP エージェント for Linux のインストール</li> <li>Arcserve UDP エージェント for Linux (本物理/仮想 Linux マシンの環境に対して推奨されます。互換性のある Linux パージョンに対して、 Linux ノードのコージョント パックリックはひりストール</li> <li>Arcserve UDP エージェント for Linux をダウンロードしてインストール</li> </ul>
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	
パージョン 6.5 (ビルド 4175)	完了(F)

#### (12) [更新の確認]

[更新の確認]画面からダウンロード経路を選択して、[更新]をクリックしてダウンロードが開始されます。

当画面は直接ダウンロードをした場合になります。

unified data protoction
unineo oata protection
いりしじや ドバイン・フレール ちちます マの軍 彩たガムン・ワービナスソノフカ 湖口口 (東北) カガルックトます
ノロードのみのインストールでいるす。この 天相 モンノノロードチック 人を通知した [天相] モンソノノはみす。
יסעט
認証が必要
977U-F
軍新 キャックル

## 1.2 ライセンス キーの登録

(1) [ライセンス登録画面の起動]

インストール完了後、管理者権限のあるユーザ(ここでは Administrator)でログインし、タスクトレイ上の UDP Agent アイコンをクリックします。[拡張] メニューを展開し、[ライセンス] を選択します。

ブートキット ウィザード	Arcserve UDP エージェントを開く 今すぐバックアップ 設定 リストア 復日ポイントのコピー 復日ポイントのマウント 更新の確認	
ライセンス	拡張 ,	
サービスの開始 通知 ▶	バージョン情報 終了	^ फ़ि 4 <sub>∞</sub> A <sup>10:14</sup>

(2) [ライセンスの確認エントリ]

25 桁のライセンス キーを登録します。 コピー アンド ペーストによる入力も可能です。

入力完了後、[追加]をクリックします。

レポーネント —	以下は、ライセン) す、または新規コン イセンス キーを入	く取得済みのコン፣ ノポーネントのライ 力してください。	ポーネントです。ニ イセンスを取得する	ユーザ数を増や SICIは、新しいラ
コンポーネント名				ライセンス数
				JXY

(3) [ライセンスの確認]

登録した[コンポーネント名] (製品名)を確認し、[OK]をクリックし画面を閉じます。

以上でインストール、およびライセンスの登録は完了です。

イセンス確認エントリ	
-コンポーネント 以下は、ライセンス取得済みのコンポ す、または新規コンポーネントのライ イセンス キーを入力してください。	ーネントです。ユーザ数を増や センスを取得するには、新しいラ
コンボーネント名 Marcserve UDP v6.5 Advanced Edition - Server	ライセンス数 1
ライセンス キー(L):	
道加(A) OK(O) キャンセル	(0) ヘルプ

#### 1.3 修正ファイルの適用

修正ファイルの入手と適用には以下の二つの方法があります。

- UDP Agent の更新機能を使用
  - UDP Agent のインストールされているマシンで Web へのアクセスが可能な場合、修正ファイルを Arcserve サポート サイトからスケジュールでダウンロードするか、[ヘルプ] メニューから[更新の確認] で手動にてダウンロード。
     ダウンロードした修正ファイルは任意の時間に、手動で適用する事が可能
- Arcserve サポート サイトを利用
  - Arcserve サポート サイトから修正ファイルを手動でダウンロードし、適用。修正ファイルは以下の URL からダウンロード可能 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3ppWAC/arcserve-udp-patchindex?language=ja

## 2. バックアップ運用の開始

ここではデフォルト設定による最も簡単な運用開始手順を説明します。 以下の説明に従って、初めてバックアップ設定を保存した場合、毎日 22:00 にバックアップが自動的にスケジュール されます。運用要件に応じバックアップ設定を変更するには、本章「3.1 バックアップ スケジュールの設定例」 を参照してください。

## 2.1 バックアップ設定

(1) [設定]

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、メニューから [Arcserve UDP を開く] をクリックします。

Arcserve UDP エージェント	を開く					
今すぐバックアップ 設定 リストア 復旧ポイントのコピー 復旧ポイントのマウント 専転の確認			ß	<b>.</b>		
拡張			~	ምጋ በም ለ	10:14	
バージョン情報 終了	ſ				2018/10/02	

(2) [ログイン]

既定のブラウザが起動し、UDP ホームページのログイン画面が表示されます。インストール時に指定した アカウントでログインします。ここでは、このまま「Administrator」アカウントでログインします。 [パスワード] 入力し、[ログイン] をクリックします。



▶ 「現在の Windows 認証情報を使用してロクイン」をクリックすると、ログイン操作を行わずに UDP ホームページを表示できます。

(3) [設定] - [バックアップ設定]

[設定] 画面の [保護設定] タブをクリックします。UDP では必ず [バックアップ先] を指定する必要が あります。「バックアップ先」 の [参照] ボタンをクリックして指定します。

設定		ΘX
<ul> <li>▲ </li> <li>バックアップ設定     <li> </li> </li> </ul>	保護設定	^
<ul> <li>③ スケジュール</li> <li>◎ 拡張</li> <li>▲ バックアップ実行前/後</li> <li>▲ ろ ファイル コピー設定</li> <li>ふ ソース</li> <li>査 デスティネーション</li> <li>③ スケジュール</li> <li>▲ う ファイル アーカイブ設定</li> </ul>	<ul> <li>▽ バッグアップ先</li> <li>ファイルのバックアップ先を選択してください。</li> <li>グラングテップ先が変更されたので、次のバックアップの種類を選択してください。</li> <li>● フルバックアップ</li> <li>○ 増分バックアップ</li> </ul>	-
<ul> <li>ふ ソース</li> <li>査 デスティネーション</li> <li>③ スケジュール</li> <li>▲ ● 復日ポイントのコピー</li> <li>査 コピー設定</li> <li>▲ ● 環境設定</li> <li>▲ ● 環境設定</li> </ul>	<ul> <li>マ バッグアップ ソース</li> <li>● すべてのボリュームのバックアップ</li> <li>○ 選択したボリュームのバックアップ</li> <li>- マ 週知 (0 個の警告)</li> <li>▽ バックアップ デー分形式</li> </ul>	
☞ 電子メール アラート ■ 更新	<ul> <li>○ 標準</li> <li>● 拡張</li> <li>▽ <b>圧縮を有効にする</b></li> <li>圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。</li> <li>「標準</li> </ul>	-
< >	設定の保存 キャンセル ヘルブ	_

バックアップ場所の選択を行い、[OK] をクリックします。この例では、「E:¥UDPBackup」という ローカル ディスク上のフォルダをバックアップ先として指定しています。

バックアップ場所の選択	×
フォルダの選択	•
▷ 🚍 C:\	
⊿ 🧰 E:\	
DPBackup	
フォルダ名:	
E:\UDPBackup	
OK キャンセル	

\* UDP ではローカル ディスク内のフォルダをバックアップ先として指定した場合、バックアップ先 フォルダを含むディスク全体がバックアップ対象から除外されます。 ローカル ディスク内にバックアップ先を確保できない場合には、以下の「バックアップ先として 共有フォルダを設定する方法」を参照し、共有フォルダをバックアップ先として設定します。 [バックアップ先として共有フォルダを指定する方法]

(ア) 共有フォルダを指定する際には、バックアップ先として¥¥で始まる UNC パスを直接入力します。

ここでは[¥¥192.168.100.10¥Backup] という共有フォルダをバックアップ先として指定します。

▼ <b>バックアップ先</b> ファイルのバックアップ先を選択し	ってください。		
\\192.168.100.10\Backup	×	- <del></del>	参照
バックアップ先が変更されたので、	次のバックアップの種類を選択してください。		
◉ フル バックアップ	○ 増分バックアップ		

(イ) UNC パスの入力後、テキストボックス横の → アイコンをクリックすると共有フォルダに接続する
 ためのアカウント情報の入力画面が表示されます。接続に使用する [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。

接続				
¥¥192.168.100.10 ^	の接続			
ユーザ名	administrator			
パスワード	······			
ユーザ名の形式: ユー 名	・ザ名、マシン名¥ユーザ名、	、またはドメイン名¥ユーザ		
	ОК	キャンセル		

(4) [設定] - [設定の保存]

[設定の保存] をクリックし設定を保存します。保存が完了すると、自動的にバックアップジョブが スケジュールされバックアップ運用が開始されます。

設定		
▲ 込 バックアップ設定 首 保護設定	保護設定	^
<ul> <li>③ スケジュール</li> <li>◎ 拡張</li> <li>▲ バックアップ実行前/後</li> <li>▲ ろファイル コピー設定</li> <li>品 ソース</li> <li>査 デスティネーション</li> <li>③ スケジュール</li> </ul>	<ul> <li>▽ バッグアップ先を選択してください。</li> <li>E:UDPBackup</li> <li>バックアップ先が変更されたので、次のバックアップの種類を選択してください。</li> <li>⑥ フルバックアップ</li> </ul>	•
<ul> <li>■ (個元イントのコピー</li> <li>● コピー設定</li> <li>■ 環境設定</li> <li>■ 環境設定</li> <li>■ 電子メールアラート</li> <li>■ 更新</li> </ul>	<ul> <li>▽ バッグアップ ソース</li> <li>● すべてのボリュームのバックアップ</li> <li>○ 選択したボリュームのバックアップ</li> <li>△ 適知 (1 個の響告)</li> <li>● ローカルのバックアップ先ボリューム E\ は、バックアップ ソースの選択から除外されます。</li> </ul>	
< >>	<ul> <li>✓ バッグアップデーダ形式         <ul> <li>● 標準</li> <li>● 拡張</li> </ul> </li> <li>✓ 圧縮 圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。         <ul> <li>■ 読定の保存</li> <li>■ キャンセル</li> <li>ヘルプ</li> </ul> </li> </ul>	

#### (5) [スケジュール確認]

バックアップ スケジュールが登録され運用が開始されます。バックアップ中のステータスや 次回のスケジュールは UDP ホーム ページ内の [ジョブ モニタ] から確認することができます。

<b>GICSETVE</b> <sup>®</sup> unified data protect	tion
サーパ: W2016	
<b>ジョブ モニタ</b> 次にスケジュールされたパックアップ:2018/10/04 220000 増分パックアップ	
サマリ       前回のパックアップ - N/A         N/A       N/A         愛賀日ボイント       31 値中 0 個の知力久与ム/手動復日ボイント         7 個中 0 個の毎日の復日ポイント       アックアップ先には 36.86 GB の空を容量があります。 パンド アップラズには 36.86 GB の空を容量があります。 パンド E 米UDFBackup#W2016         パック アップ 0 パイト       その他 4.07 GB       空を容量	<b>受新</b> #rosenve UDP エージェント はダウンロード サーバに接続できません。 16 <i>8</i> 6 GB

\* デフォルトの設定は、毎日 22:00 です。すぐにバックアップを開始する場合は、
 [今すぐバックアップ]をクリックしバックアップを実施します。

## 3. バックアップ スケジュールの設定

## 3.1 バックアップ スケジュールの設定例

ここでは、月曜日から金曜日の23時に増分バックアップを行い、土曜日および日曜日にはバックアップ を実施しない例を紹介します。

(1) [設定] 画面の起動

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、[設定] をクリックします。



(2) [設定]

バックアップ スケジュールの設定は、[設定] - [スケジュール] メニューでスケジュールを変更します。

設定				
<ul> <li>         ・ バックアップ設定         <ul> <li>                        保護設定</li></ul></li></ul>	● 追加 ▼ 削除			^
◎ 拡張	□ タイ 説明 プ	日月火	水木金土時刻	
▲ 📉 ファイル コピー設定	□ 🖆 日次増分バックアップ	< < <	22:00	
<ul> <li>ふ ソース</li> <li>ゴ デスティネーション</li> <li>③ スケジュール</li> </ul>	スケジュールされたバックアップの 開始時刻	2018/10/04	17 * : 11 *	
▲ N ファイル アーカイブ設定	復旧ポイントの保存	7	毎日	
■ ノスノイホ ション ◎ スケジュール			毎週	
▲ 優 復旧ポイントのコピー 首 コピー設定			毎月	
▲ 標 環境設定 3 一般		31	カスタム/手動	
図 電子メール アラート ■ 更新	カタログ	以下の実行後にファイル シン □ 日次バックアップ	ステム カタログを生成 (検索速度向上のため):	
		<ul> <li>週次パックアップ</li> <li>月次パックアップ</li> </ul>		
		□ カスタム/手動/(ックアッ	プ	
< >>		<ul> <li>詳細リストアに対する Arcserve UDP Exchang</li> </ul>	Exchange カタログの生成は不要になりました。 je Granular Restore ツールの詳細については、	~
			この保存 キャンセル ヘルブ	

(3) [日次増分バックアップ]の変更

[日次増分バックアップ]をクリックし、以下のように設定します。

#### **開始時刻 :** 23 時 曜日: ☑月曜日 ☑火曜日 ☑水曜日 ☑木曜日 ☑金曜日 保持するバックアップ数:5 バックアップ スケジュールの編集 $\times$ バックアップ スケジュールの編集 毎日 毎日 v バックアップの種類 バックアップの種類 増分 増分 Ŧ Ŧ 開始時刻 開始時刻 23:00 22:00 <u>'...'</u> <u>'a'</u> ☑ 日曜日 ☑ 月曜日 ☑ 火曜日 日曜日 ☑ 月曜日 ☑ 火曜日 ☑ 水曜日 ☑ 木曜日 ☑ 金曜日 ✔ 水曜日 ☑ 木曜日 ☑ 金曜日 ☑ 土曜日 □ 土曜日 保持するバックアップ数 5 保持するバックアップ数 7 ヘルプ 保存 キャンセル ヘルプ キャンセル 保存

(4) [設定の保存]

月曜日から金曜日の23時にバックアップを実行する設定が完了しました。[設定の保存]をクリックします。 \*カスタム バックアップで保持する復旧ポイント数は、デフォルトでは「31」です。

設定										
<ul> <li>「ックアップ設定</li> <li>保護設定</li> <li>スケジュール</li> </ul>	● 追加 ▼ 削除									^
<ul> <li>◎ 拡張</li> <li>▲ バックアップ実行前/後</li> <li>▲ スワイルコピー設定</li> </ul>	<ul> <li>         タイ 説明 ブ      <li>         ブ         日次増分バックアップ     </li> </li></ul>	E •	月	火 ✓	<i>∗</i>	*	金 ✓	±	時刻 23:00	
▲ ソース	△ 通知 () 手動(アドホック)バックアッフ テはまだ第日ナタキオ	「については、カス	<b>Հ</b> タム/	(手動バ	(ックア	マップ:	スケジ	⊥— <i>1</i> ι	用に設定された保存設	
▲ 3 ファイル アーカイフ設定 ふ ソース 首 デスティネーション 図 スケジュール	定はまた週用されます。 スケジュールされたバックアップの 開始時刻	2018/10/04			17	• :	11			_
<ul> <li>▲ 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20</li></ul>	復旧ポイントの保存	7			毎日					
ー					毎週					
		31			カスタ	7ム/手	勆			
< >	カタログ	以下の実行後にこ	ファイ) いゴ	レシス 設定の	テムナ D保存		ブを生成 キ	式 (検到 マンt	客速度向上のため): zル ヘルプ	×

## 4. ベアメタル復旧

ベアメタル復旧(BMR)とはまっさらなハード ディスクヘシステムを復旧し、サーバを元通りに回復する復旧手段の事を 意味しており、UDP では OS やアプリケーションをインストールせずに、バックアップ取得時とまったく同じ状態にシス テム全体を回復させることができます。UDP はベアメタル復旧を標準機能として提供しています。

本ガイドでは、復旧メディアの作成方法やもっとも簡単な [高速モード] を使って、共有フォルダまたは復旧ポイント サーバのデータストアに保存されているバックアップ イメージからベアメタル復旧を行う手順を説明します。(サーバ内のローカル ディスクにバックアップされている場合でもご利用いただけます)

UDP はベアメタル復旧を行う際に WinPE ベースの復旧メディア (ISO イメージまたは USB メモリ)を使用します。

この復旧メディアには、ベア メタル復旧の実行に必要な情報がすべて含まれており、「ブートキットの作成」ウィザード を使用して作成できます。

本資料では、Windows 8/8.1 ベースの復旧メディア (ISO イメージ) を作成する方法について説明します。

※ Windows 8/8.1 ベースの復旧メディアは、Windows Server 2012/2012 R2、Windows Server 2008/2008 R2
 の復旧メディアとしても利用することができます。

ブートキットの作成ウィザードでは、必要なドライバを組み込んだメディアやドライバを組み込まない汎用的なメディアを 作成することが可能です。ドライバを組み込まない復旧メディアを利用した BMR 復旧でも、必要に応じて復旧中にドライ バを組み込むことができます。復旧メディアを作成するには Windows ADK (Windows アセスメント & デプロイメント キット)または Windows AIK (Windows 自動インストール キット)をインストールする必要があります。インストール が必要なキットは復旧対象サーバの OS バージョンによって異なります。必要なキットの種類については「4.1 復旧メディ アの作成」を参照ください。

#### 4.1 復旧メディアの作成

本ガイドでは、ブートキットの作成ウィザード実行時に、Windows ADK をダウンロードしながら、復旧メディアを作成す る一連の操作を記載します。(UDP Agent がインターネットに接続できない環境の場合は、別のマシンを使って Windows ADK または Windows AIK を事前にダウンロードしインストールする必要があります。)

#### (1) [ブートキットの作成] ウィザードの起動

Windows スタートアップ メニューから、[Arcserve UDP ブートキットの作成] を選択してください。

アプリ <sub>名前順 &gt;</sub>	
L	Arcserve
Internet Explorer	Arcserve UDP Exchange Granul…
τ	Arcserve UDP エージェント
デスクトップ	IIII Arcserve UDP エージェント モニタ
Ł	<b>International Acception</b> Arcserve UDP プートキットの作成
الرلاية المركمة	Windows アクセサリ

[BMR ISO イメージの種類を指定]

復旧対象サーバの OS バージョンに応じて、[Windows 10]、[Windows 8/8.1] または [Windows 7] を選
択し、[次へ] をクリックします。 (本ガイドでは、[Windows 8/8.1] を選択しています。復旧対象が
Windows Server 2016 の場合は、[Windows 10] を選択します)

ベア メタル復旧用のブート キットの作成	x
BMR ISO イメージの種類を指定	
<ul> <li>C Windows 10</li> <li>この BMR ISO イメージは Windows 10 用です。このオプションは、Windows 10、Windows Server 2016 をソースと する BMR を実行する場合に使用します。</li> <li>Microsoft から Windows 10 の Windows ADK (Assessment and Deployment Kit) をダウンロードして、インス トールする必要があります。</li> <li>© Windows 8/8.1</li> <li>この BMR ISO イメージは、Windows 8/8.1 用です。このオプションを使用して、Windows 8/8.1、Server 2012/2012R2 のソースに対して BMR を実行します。</li> <li>Windows 8/8.1 用の Windows ADK (Assessment and Deployment Kit) を Microsoft からダウンロードする 必要があります。</li> <li>C Windows 7</li> <li>この BMR ISO イメージは Windows 7 用です。Microsoft から Windows 7 用の Windows AIK (Automated Installation Kit、自動インストール キット)をダウンロードし、インストールすることが必要です。</li> <li>このオプションを使用すると、より古いオペレーティング システムおよびハイパーパイザ (VMWare ESX 4、4.1、または Workstation 7 など) に対してよりよい後方 互換性が提供されます。</li> </ul>	
Arcserve UDP バージョン_6.5.4175_更新_4_ビルド_1223 次へ(N) キャンセル(C) ヘルプ(H)	

(2) [Windows ADK または AIK 情報]

「ブートキット ウィザード」は、起動時にコンピュータをチェックし、Windows ADK (Windows アセスメ ント & デプロイメント キット) または Windows AIK (Windows 自動インストール キット)がインストール されていない場合は、 [Windows ADK または AIK 情報] 画面を表示します。

※Windows ADK または Windows AIK がインストール済みの環境は (4) へ進んでください。

※復旧対象のサーバが Windows Server 2016 の場合は、Windows 10 用の Windows ADK が必要です。

※復旧対象のサーバが Windows Server 2003 の場合は、Windows 自動インストール キット(AIK)が 必要です。

Windows AIK は以下の Microsoft 社の Web からダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753

本ガイドでは Windows ADK の場合を説明します。

画面下部の「<u>ここをクリックすると、</u>Windows 8.1 用 Windows ADK のダウンロード センターにアクセス できます。」の[ここをクリックすると、] をクリックします。

Windows 8/8.1 用の BMR ISO イメ- ピュータにインストールする必要があります。 トールします。	ージを作成するには、 Microsoft からダウンロードしたものをこのコン 、 Windows 8/8.1 用 Windows ADK をダウンロードしてインス	^
Windows 8/8.1 用の Windows す。Windows 7、Windows 8、Wi Windows Server 2008 R2、Win Windows Server 2016。	ADK では、以下のいずれかのオペレーティング システムが必要で ndows 8.1, Windows 10, Windows Server 2008, dows Server 2012, Windows Server 2012 R2,	=
BMR イメージを作成するには、以下の - Deployment Tools - Windows Preinstallation Env	Windows ADK 機能が必要です。 ironment (Windows PE)	
	ndows ADK のダウンロード センターにマクセスできます	~
<u>ここをクリックすると、</u> Windows 8 用 Wi		

(3) Windows ADK のダウンロード

Microsoft 社の Web ページ 「Windows 8.1 Update 用 Windows アセスメント & デプロイメント」 (<u>http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=39982</u>) ダウンロードページを開き Windows ADK をダウンロードします。 <Windows ADK のインストール>

① Windows ADK プログラムの実行

ダウンロードした Windows ADK フォルダ内の「adksetup.exe」 をクリックし、実行します。 Windows Server 2008 R2 以前の OS では、「Assessment and Deployment Kit for Windows 8.1 セ ットアップ」 が起動し、Assessment and Deployment Kit セットアップに必要な Microsoft .NET Framework が表示されますので内容を確認し、同意できる場合は、[Microsoft .NET Framework のライ センス条項に同意します] をチェックし、[同意してインストールする] をクリックします。

(Windows Server 2012 以降では Microsoft .NET Framework 4.5 がデフォルトでインストールされて いるため、表示されません。③に進みます)

🛄 Windows Assessment and Deployment Kit for Windows 8.1 セットアップ			
🚱 Windows Assessment and Deployment Kit for Windows 8.1 の セットアップに必要な Microsoft .NET Framework			
マイクロソフト ソフトウェア 追加ライセンス条項			
.NET FRAMEWORK 4.5 FOR MICROSOFT WINDOWS OPERATING SYSTEM			
Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) は、本追加ソフトウェアのライセンスをお客様に供与します。Microsoft Windows operating system ソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます) を使用するためのラインセンスを取得している場合は、本 追加ソフトウェアを使用できます。本ソフトウェアのライセンスを取得していない場合は、本追加ソフトウェアを使用することはできませ ん。お客様は、本ソフトウェアの有効なライセンス取得済みの複製 1 部ごとに本追加ソフトウェアを使用できます。			
以下のライセンス条項は、について説明しています。これらの条項と本ソフトウェアのライセンス条項が本追加ソフトウェアの使用に適 用されます。両者の間に矛盾がある場合は、本追加ライセンス条項が適用されます。			
本追加ソフトウェアを使用することにより、お客様はこれらの条項に同意されたものとします。これらの条項に同意されない 場合、本追加ソフトウェアを使用することはできません。			
お客様がこれらのライセンス条項を遵守することを条件として、お客様は以下が許諾されます。			
1. 再頒布可能コード 本追加ソフトウェアは再頒布可能コードで構成されています。「再頒布可能コード」とは、お客様が開発され たプログラムに含めて再頒布することができるコードです。ただし、お客様は以下の条件に従うものとします。			
a. 使用および再頒布の権利			
☑ Microsoft .NET Framework のライセンス条項に同意しま:			
同意してインストールする(A) 同意しない(D)			

② [システムの再起動]

環境によって Microsoft .NET Framework のインストールが完了した後、システムの再起動が必要になる場 合があります。[OK] をクリックし、システムを再起動します。 ③ [場所の指定]

Windows ADK のインストール先フォルダを指定します。

提	Windows アセスメント & テ	ブロイメント キット for Windows 8.1	_ <b>_</b> ×
	場所の指定		
	<ul> <li>このコンピューターに Windows アセスメント &amp; デプロイ インストール パス:</li> <li>C:¥Program Files (x86)¥Windows Kits¥8.1¥</li> <li>* Windows キットの共通のインストール パスが使用</li> </ul>	(メント キット for Windows 8.1 をインストール 目されています	します 参照(W)
	<ul> <li>個別のコンピューターにインストールするために Windov ロードします</li> <li>ダウンロード パス:</li> <li>C:¥Users¥Administrator¥Downloads¥Windov</li> </ul>	vs アセスメント & デブロイメント キット for Win ws Kits¥8.1¥ADK	dows 8.1 をダウン 参照(W)
	推定必要ディスク領域: 利用できるディスク領域:	5.9 GB 113.2 GB	:へ(N) キャンセル(C)

\* Windows ADK をダウンロードし、別のマシンに適用する場合は「個別のコンピュータにインストールす るためにアセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1 をダウンロードします」を選択し、保存 先を指定します。復旧メディアを作成する UDP Agent サーバが、インターネットに接続できない環境では、 ダウンロード済みの Windows ADK を利用する必要があります。

④ [アセスメント & デプロイメント キット]-[カスタマー エクスペリエンス向上プログラムへの参加] 必要に応じて、[はい] または [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。

1月 Windows アセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1 🛛 🕒 💌
カスタマー エクスペリエンス向上プログラム (CEIP) への参加
カスタマー エクスペリエンス向上プログラム (CEIP) により、お客様の Microsoft プログラムの使用方法、お客様が直面する問題 など、使用に関する匿名の情報が収集され、Microsoft に送信されます。Microsoft は、製品および機能の改善のためにこの情 報を使用します。プログラムへの参加は任意ですが、最終的には、お客様のニーズをより満たすようにソフトウェアは改良されます。お 客様が作成されたコードやソフトウェアが収集されることはありません。 このプログロールが知るまますよろ
* プロクラムに参加すると、このコンピューターにインストールされているすべての Windows キットが対象になります。
○ はい(Y)
● いいえ(N)
プライバシーに関する声明
戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

#### ⑤ [使用許諾契約]

内容に同意できる場合は、[同意する]をクリックします。

	Windows アセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1
使用詞	午諾契約
続行する( しない] を	こは、この契約の条項に同意する必要があります。マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意しない場合は、[同意 クリックします。
マイクロ	ソフト ソフトウェア ライセンス条項 ^
MICRO	SOFT WINDOWS KITS
以下に 適用され い。ライ	変数の独立したライセンス条項が記載されています。お客樹こは1組のみが適用されます。お客樹こ いるライセンス条項を判別するには、ダウンロードしようとしているキットの名前までスクロールしてくださ センス条項は以下の順に記載されています。
Microso	ft Windows Assessment and Deployment Kit for Windows 8.1
Microso	ft Windows Driver Kit for Windows 8.1
Microso	ft Windows Hardware Certification Kit for Windows 8.1
Microso	ft Windows Software Development Kit for Windows 8.1
個々の	キットの使用には、その特定のキットのライセンス条項が適用されます。
*****	******************
マイクロ	ソフト ソフトウェア ライセンス条項
MICRO	SOFT WINDOWS ASSESSMENT AND DEPLOYMENT KIT FOR WINDOWS 8.1
	戻る(B) 同意よない(D)

#### ⑥ [インストールを行う機能を選択してください]

[Deployment Tools] と [Windows Preinstallation Environment (Windows PE)] を選択し、[インストール] をクリックします。BMR イメージ作成で必要なものは 2 点"のみ"です。

<del>ات</del> ا	Windows アセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1				
	インストールを行う機能を選択してください				
1	詳細については機能名をクリックしてください。				
	Application Compatibility Toolkit (ACT)	Windows Preinstallation			
	☑ Deployment Tools	Environment (Windows PE)			
	☑ Windows Preinstallation Environment (Windows PE	サイズ: 3.0 GB			
	User State Migration Tool (USMT)	Windows のインストールと処理用にコンピューターを準備するため の最小限のオペレーティング システムです。			
	□ ボリューム ライセンス認証管理ツール (VAMT)				
	□ Windows パフォーマンス ツールキット				
	□ Windows アセスメント サービス	Windows PE (x86)     Windows PE (AMD64)			
	Microsoft SQL Server 2012 Express	次の機能が必要です:			
		Deployment Tools			
		推定必要ディスク領域: 3.0 GB			
		利用できるテイスク視測: 113.2 GB			
		戻る(B) インストール(I) キャンセル(C)			

⑦ [アセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1 へようこそ]

表示を確認し、[閉じる]をクリックします。



以上で、ADK のインストールは完了です。

(4) [ブートキット方式の選択]

[ブート可能 BMR ISO イメージの作成] または [ブート可能 BMR USB メモリ] を選択し、 [次へ] をクリックします。(本書では、[ブート可能 BMR ISO イメージの作成] を選択しています。

ベア メタル復旧用のブート キットの作成
ブートキット方式の選択
で ブート可能 BMR ISO イメージの作成
C ブート可能 BMR USB メモリの作成
ブート可能 ISO イメージまたは USB メモリを作成できます。作成したら、BMR を実行するために使用できます。
BMR USB メモリを作成するオプションを選択した場合、USB メモリがコンピュータに用意されており、書き込み 可能であることを確認します。
Arcserve UDP バージョン_65.4175.更新_4_ビルド_1223 戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) ヘルプ(H)

(5) [プラットフォームとデスティネーションの選択]

[プラットフォームの指定] で復旧用メディアに含める BMR イメージのプラットフォームを選択します。 本ガイドでは、両方のプラットフォームで使用できるよう [x86 プラットフォーム用の BMR イメージ] および [x64 プラットフォーム用の BMR イメージ] を選択しています。

ベア メタル復旧	用のプート キットの作成	x
プラットフォームとデスティネーションの選択		
<ul> <li>ブラットフォームの指定</li> <li>マ x86 ブラットフォーム用の BMR イメージ</li> <li>マ x64 ブラットフォーム用の BMR イメージ</li> <li>x86 または x64 ブラットフォーム用の BMR イメージ</li> <li>x86 または x64 ブラットフォーム用の BMR イメージを当 ームを 1 つのイメージに統合できます。</li> <li>UEFI ファームウェア システムをブートするには、x64 ブラ</li> <li>デスティネーションの指定</li> <li>BMR ISO イメージを保存するための保存先フォルダを</li> </ul>	E成できます。両方のオプションを選択すると、2 つのプラットフォ ットフォーム用 BMR イメージを選択してください。 参照します:	
C:¥Users¥Administrator	参照	
注: BMR ISO イメージ ファイルを保存するには、デス: BMR ISO イメージの名前の入力: BMR_x86x64_w8.1_バージョン_6.5.4175_更新	ティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量が必要です。 _4_ビルド_1223.ISO	
, Arcserve UDP バージョン_5.5.4175_更新_4_ビルド_1223	戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) へルプ	(н)

(6) [プラットフォームとデスティネーションの選択]

[デスティネーションの指定] で、[BMR ISO イメージを保存するための保存先フォルダを参照します] および [BMR ISO イメージの名前の入力] でそれぞれを指定し、[次へ] をクリックします。

プラットフォームの指定		
☞ x86 プラットフォーム用の BMR イメー	-9	
☞ x64 プラットフォーム用の BMR イメー	-9	
x86 または x64 プラットフォーム用の BM ームを 1 つのイメージに統合できます。	R イメージを生成できます。両方のオプションを選択すると、2	つのプラットフォ
UEFI ファームウェア システムをブートするに	こは、x64 プラットフォーム用 BMR イメージを選択してください.	•
デフティオーとっての形字		
ーデスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保	存先フォルノタを参照/ます:	
ーデスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保 C:¥Users¥Administrator	存先フォルダを参照します:	参照
ーデスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保 C:¥Users¥Administrator 注: BMR ISO イメージ ファイルを保存す	存先フォルダを参照します: するには、デスティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量	参照が必要です。
ーデスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保 C:¥Users¥Administrator 注: BMR ISO イメージ ファイルを保存す	存先フォルダを参照します: するには、デスティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量	参照 が必要です。
- デスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保 C:¥Users¥Administrator 注: BMR ISO イメージ ファイルを保存 BMR ISO イメージの名前の入力:	存先フォルダを参照します: するには、デスティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量	参照 が必要です。
- デスティネーションの指定 BMR ISO イメージを保存するための保 C:¥Users¥Administrator 注: BMR ISO イメージ ファイルを保存 BMR ISO イメージの名前の入力: BMR_x86x64_w8.1_/(ージョン_6.5	存先フォルダを参照します: するには、デスティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量 5.4175_更新_4_ビルド_1223.ISO	参照 が必要です。

(7) [言語の選択]

デフォルトでは、[日本語]が選択されていますので、そのまま[次へ]をクリックします。

ベア メタル復旧用のブート キットの作成			
言語の選択			
以下の言語をこの BMR イメージに統合で	できます。統合した場合、E	3MR プロセスで GUI およびキーボードに対して 1 つ以上	
の言語を継択できます。		Multiplet ender state and and the	
注: 各言語の統合には時間がかかります。 ださい。	このプロセスにかかる時間	を最小限に抑えるには、必要とする言語のみを選択してく	
- 言語を選択してください・			
	〒 胡同志		
	1 \$4155		
) 中国語 (間体子)			
中国語 (素体子)			
「ドイツ語			
□ ポルトガル語 (ブラジル)			
□ スペイン語		□ すべて選択	
Arcserve UDP バージョン_6.5.4175 更新_4 ビルド_1223 戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) ヘルプ(H)			

(8) [ドライバの指定]

[作成] をクリックします。

\* ドライバを組み込んだ BMR ISO イメージを作成する場合は、[ローカル ドライバを含む] または [ドライバの追加] を選択し、ドライバを導入します。

		ベア メタル	復旧用のブ	ート キットの作成		
ライバの指定						
追加のドライル	を BMR ISO イメ・	ージに統合できます	。統合すると、I	BMR プロセスの起動時に	:ロードされます。	
種類	メーカ	バージョン	プラット	パス		
-						
-						
	カルドライバを含む(	[)		ドライバの追加(A)	ドライバの削除(D)	
erve LIDP						
7∃ン_6.5.4175_更3	新_4_ビルド_1223		戻る(	(B) 作成(R)	キャンセル(C) へルフ	†(Н)

(9) [ブート可能 BMR ISO イメージまたは BMR USB メモリの作成]

BMR ISO イメージの作成が開始され、完了すると以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。

ベアメタル復旧用のブートキットの作成
ブート可能 BMR イメージの作成
ブート可能 BMR ISO イメージが正常に生成されました。 場所: C:¥Users¥Administrator¥BMR_x86x64_w8.1_/(ージョン_6.5.4175_更新_4 ビルド_1223.ISO プラットフォーム: x86 + x64 <u>7ごをクリックすると、</u> 新しい BMR ISO イメージの場所にアクセスできます。
Arcserve UDP パージョン_6.5.4175 更新_4_ビルド_1223 完了(F) キャンセル(C) へルプ(H)

(10) BMR ISO イメージから復旧用 CD の作成

作成した BMR ISO イメージからライティング ソフトウェアなどを使って、復旧用 CD を作成します。 作成した復旧用 CD からマシンを起動し、ベアメタル復旧を行うことができます。



\*作成した復旧メディアは、UDPのビルド番号を入れた名前をつけて、大切に保管してください。

#### 4.2 ベアメタル復旧の実行

UDP のブートキット作成ウィザードを使って作成した復旧メディアを復旧対象のサーバにセットし、起動すると Windows Boot Manager が立ち上がります。

(1) [Windows Boot Manager]

復旧対象サーバのアーキテクチャー(x86/x64)を選択し、Enter キーを押すと、BMR(ベアメタル復旧) ウィザードが起動します。デフォルトでは 30 秒で x64 が自動選択されます。



\*P23 (6)の手順で1つだけ選択した場合は表記されません。

(2) [キーボード レイアウト] の選択

[日本語]を選択し、[次へ]をクリックします。

arcserve	bare metal recovery
日本語	
English	
キーボードレイアウト・	
日本語	× .
	Next

(3) [ベア メタル復旧 (BMR) - BMR のバックアップの種類の選択]

[Arcserve Unified Data Protection のバックアップからリストアします] が選択されていることを確認し、 [次へ] をクリックします。

arcserve	<b>e</b> * bare metal recovery					
ペア メシル 復旧 (BMR) <i>— BMR のパックアップの建築の</i> )	ペアメション[1] (3947) - BMR のパックアップの登場の選択					
	リストア ソースの 種類を 選択する:					
	④ Arcserve Unified Data Protection のパックアックからリストアする このすフsubを使用して、パックアップたフsはグまたはサーカストアがらいストアを実行します。					
	○ <b>仮想マシンから回復</b> このオブションを発用して、仮想スシンバイ または インス3ント VMによって作成された仮想マシンから VPF (仮想から物理)リストアを実					
	- ジースは VMmve のマシンにある - ジースは Hyper-V マシンにある					
▲ ユーティリティ(U)	辰3(3) 次へ(1) 中止(4)					
パージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド	1223; ブートファームウェア: BIOS					

ローカル ディスクにバックアップが保存されている環境では、UDP は自動的にバックアップ先を検出するため、以降の (4) から (7) の操作は不要です。適切なバックアップデータを選択の上、(8) に進みます。DHCP で IP アドレスを取得している環境では以降の (5) から (6) の操作は不要です。(7) に進みます。

#### (4) [ベア メタル復旧 (BMR) - バックアップの先の検出]

共有フォルダまたは復旧ポイント サーバのバックアップ先を参照するため、先にネットワークの設定を行い ます。ここでは バックアップ先の検出は [キャンセル] をクリックして中止します。

pare metal recovery		
以下のパックアップ済みマシンが検出されました:		
🔒 win-agt	- バックアップ情報 ホスト名:	win-apt
	OS: DNS サフィックス:	Windows Server 2012 R2 X64
	ソース:	ネットワーク /ローカル パス
バックアップ先を特出しています。お待け 指定したマシンには 2010/10/92 ● 2010/10/92 ● 1083734	Kださい キャンセル(C) バックアップの優都: - フル パックアップの優都: - フル パックアップの優都: - アルフロアがのませる パックアップオの8時: - カスマイズをれた場今パック	更新(B) 参照(W) ▼ 0: 
	<b>ブート ファームウエア:</b> - BIOS <b>パックアップされたポリューム</b> - シスクムで予約課書(2771 - O米(15.34 GB/12666 GB - D米(25 MB/1021 MB/35	(使用サイズ/会計サイズ/ <b>ク</b> 気な最小サイズ): HE/350 HE/350 HE/350 HE/ (1967 E) UHE)
	pare metal recovery 以下のパックアクブ法市マシンが検出されました: 「パックアック先を検出しています。お伴が 指定したマシンCは ■ 2016/10/22 ■ 2016/10/22 ■ 1837.34	Are metal recovery 以下のパックップ派みマッンが特徴送れました: パックアップ派報 ホスト名: ロS: DNS サフィックフ: リーン パックアップ派報 ホスト名: ロS: DNS サフィックフ: リーン パックアップ派報 北スト名: ロS: DNS サフィックフ: リーン パックアップ派報 北スト名: ロS: DNS サフィックフ: リーン パックアップ派報 ホスト名: ロS: DNS サフィックフ: リーン パックアップ派報 バックアップ派報: ・ フル パックアップ派報: ・ フル パックアップ派報: ・ フル パックアップ派報: ・ フル パックアップ派報: ・ フル パックアップ派報: ・ フル パックアップ派報#: ・ フル パックアップ派報#: ・ フル パックアップ派報#: ・ フル パックアップズに載用の・ コーム パックアップズに載用の・ コーム ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ロS: レーン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

(5) [ベア メタル復旧 (BMR) - ネットワーク設定]

[ユーティリティ]メニューから、[ネットワークの設定]をクリックします。

arcserve <sup>,</sup> t	pare metal recovery		
ペアメタル復旧 (BMR) - <i>復田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました:		
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ		パックアップ情報	
プ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 間違する復旧ポイントが表示されます。統行するには、復 旧ポイントを選択してください。	a win-agt	<b>ホスト名</b> :	win-aşt
注:デフォルトでは、ローカル ポリュームから検出されたパックファイズネットでは、ローカル ポリュームから検出されたパッ		OS:	Windows Server 2012 R2 X64
メーバブルディスクを接続または接続解除した後、[更新] をクリックするとマシンリストを更新することができます。 キケ「参照」をクリックするとマシンリストを更新することができます。		DNS サフィックス:	
データストアからパックアップ済みマシンを追加することもで きます。		<b>ソース:</b>	ネットワーク/ローカル パス
リモード共有フォルダを参照できない場合、NO ドライバが インストールをわていないが、ドラドレンが間違っている可 能性があります。必要な場合には、以下を進行できます。 ここをリンジナるだ。ドライバタロードユーティリアで発動 します ここをリンジナるだ。ネットワーク数変ユーティリアで発動 します	<ul> <li>NO IP 5/11/0</li> <li>が協連っている可 定案(170歳また)</li> <li>アチャリティを起動</li> <li>レーティリティを起動</li> <li>出支したマシンに以下の復旧ポイントが検出とれました。復旧ポイントを1 つ選択した後、執行してください:</li> </ul>		
	E- 2018/10/22	AR 2 <del>7</del> -92:	^
	In (18/17/34)	パックアップの尊細:	
		- フル バックアップ	
		パックアップ先(現在のシステムか - E:¥UDP¥win-agt¥	ら(在出):
		パックアップの説明:	
		- カスタマイスされた増分パックアップ	
バージョン情報		- BIOS	
ドライバのロード ユーティリティ		パックアップされたボリューム(使用 - システムで予約済み(277 MB/3	#サイズ/ 会計サイズ/ 必要な最小サイズ): 350 MB/350 MB )
ネットワークの設定		- C.¥ (1534 GB/12656 GB/19 - D.¥ (25 MB/1021 MB/350 MB	1.97 GB) B)
アッティレディロッ			
▲ ユーティリティ(U)	ファールウェア·BIOS	Ē	表B 次へN 中止A

(6) [ネットワークの設定]

ネットワークの設定を行い、[OK]をクリックします。必要に応じて、デフォルトゲートウェイや DNS サーバの設定を行って下さい。必要に応じて、デフォルト ゲートウェイや DNS サーバの設定を行ってください。

ネットワークの設定	<b>×</b>
ネットワーク アダプタの選択および設定:	
🚺 Intel(R) PRO /1 000 MT Network Conn	ection 🗸 更新(R)
● IP アドレスを自動的に取得する ○ 次の IP アドレスを使用する:	
IP アドレス:	192 . 168 . 52 . 140
サブネット マスク:	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ:	192 . 168 . 52 . 2
● DNS サーバを自動的に取得する ○ 次の DNS サーバ アドレスを使用する:	
優先 DNS サーパ:	192 . 168 . 52 . 2
代替 DNS サーバ:	
接続ステータス ステー <sup>3</sup> 速度:	9ス: 接続済み 1000 Mbps
ок	キャンセル 適用(A)

- (7) [ベア メタル復旧 (BMR) 復旧ポイントを選択します]
- ・バックアップイメージが共有フォルダに保存されている場合には手順Aへ進みます。
- ・バックアップ イメージが復旧ポイントサーバに保存されている場合には 手順 B へ進みます。

手順A: 共有フォルダからバックアップ イメージを参照する

①左下の画面で正しくネットワークが設定されていることを確認し、[参照] - [ネットワーク/ローカル パスから参照] をクリックします。

arcserve <sup>®</sup> t	pare metal recovery	
ペアメタル復旧 (BMR) <i>ー 復田ポイントを選択します</i>	以下のパッケアップ済みマシンが検出されました:	
上部ペインには、すべてのバックアップ済みマシンとバックアッ プ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。統行するには、復 旧ポイントを選択してください。	🗑 win-ast	- パッウアップ情報 ホスト名: win-aet
注デフォルトでは、ローカル ボリュームから検出されたパッ クアップ済み マシンのみ がここにリストなれます、新しらい ムーパブル ディスクを接続または接続解除した後、[更新] をりいらするとでシンリストを置頼することができます。 また、[参編]をりいりすると、リモート共有フォルダまたは ー		DS: Windows Server 2012 R2 X64
デージストンパションジンスパタインフとは風出ることとで 考ます。 リモート共有フォルダを参照できない場合、ND(トワイガが インストールされていないか、IP アドレスが間違っている可 動性があります。基本現場合には、以下を実行できます。 ここをリンジョンを、ドライパのロードユーティリティを超動 します		
<u>ここをクリックすると、</u> ネットワーク語堂ユーティリティを超動 します	指定したマシンに以下の彼旧ポイントが快出されました。彼 	1日ボイントを1 つ道沢した後、統行してください: ■ 1日ボイントを1 つ道沢した後、統行してください: AR ステータス: - - - - - - - - - - - - -
		<b>パックアップ先 (現在のシステムから使法):</b> - ENUDPWm-astW <b>パックアップの説明:</b> - カスタマイズをれた増分 パックアップ
1 10073701/07 アメフタが検出されました wmonet3 Ethernet Adapter - IPアドルス 19315652.140 - ステータス 接続演奏		アート・アームスエメ: - BIOS パックアップされたポリエーム(使用サイズ/会計サイズ/参要な最小サイズ): - システムで予約済み(277 Me/350 Me/350 Me) - OW (15 44 Gel/ 456 Gel/ 437 GE) - DW (25 ME/1021 ME/350 ME) - DW (25 ME/1021 ME/350 ME)
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		戻る(B) 次へ(N) 中止(A)
パージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; ブート	ファームウェア: BIOS	

#### ②[フォルダの選択]

バックアップ先の共有フォルダを ¥¥ で始まる UNC パスで直接 [探す場所] に入力し、 📑 アイコンを クリックします。

フォルダの選	択		×
探す場所:	¥¥192.168.101.1¥ 30. 85.4 15.83₩ ★ 40. 11 5 5		
名前	サイズ	更新日時	^
AMD64		2017/03/17 6:11:42	
BG-BG		2017/03/17 6:03:56	
BOOT		2017/03/17 6:03:57	
OS-CZ		2017/03/17 6:03:57	
DA-DK		2017/03/17 6:03:57	
DE-DE		2017/03/17 6:03:57	
EFI		2017/03/17 6:03:57	
EL-GR		2017/03/17 6:03:57	
EN-GB		2017/03/17 6:03:57	~
<			>
フォルダ パス:	F:¥		OK
			キャンセル

③[Windows セキュリティ]

アカウント情報を入力します。アカウント情報は、「マシン名またはドメイン名¥ユーザ名」を指定します。 入力が完了したら[OK]をクリックします。

	フォルダの選択	83
探す場所: (ローナ	¥¥1921681011 ンルドライブを選択するか、リモート共有パスをここに入力してください。)	
名前	Windows セキュリティ 💌	
	次の接続先に使用するユーザ名およびパスワードを入力してください: ¥¥1 92.168.101.1	
	ューザ名: UDP-SERVER¥administrator	
	パスワード:	
	ユーザ名の形式: <マシン名またはドメイン名>¥<ユーザ名>	
	OK         キャンセル	
フォルダ パス:	X¥ 01	<
	472	セル

#### ④[フォルダの選択]

復旧対象のサーバ名のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。バックアップ先フォルダ内の復旧するサ ーバ名のフォルダを指定します。

	フォル	ダの選択	×			
探す場所: レーカル ドライブを選択するか、リモート共有パスをここに入力してください。) (ローカル ドライブを選択するか、リモート共有パスをここに入力してください。)						
名前	サイズ	更新日時				
W201 2R2-AS	301	2016/02/17 9:26:04				
	¥¥1921681011¥UDP-Ba	ckup¥W2012B2				
74/03 MA	++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	on apention ente				
			キャンセル			

⑤[ベアメタル復旧 (BMR) - 復旧ポイントを選択します]

最新のバックアップを取得した日時が選択されます。古いバックアップから復旧する場合は、リストから復旧 に使用するバックアップの日時を選択してください。[次へ]をクリックし、(8)へ進みます。

arcserve <sup>,</sup> t	pare metal recovery		
ペアメタル復旧 (BMR) - <i>復田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました:		
上部ペインには、すべてのバックアップ済みマシンとバックアッ プ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。続行するには、復 旧ポイントを選択してください。	- バックアクプ構 第 win-aet ホスト名:	eeeet	
注デフォルトでは、ローカル ボリュームから特出されたパッ クック消滅 マシンのあがここじパストでもます。新いい ムーパカ・ディクスを結成もなは保険制限にと後、(医新) をりいウするとマシン リストを更新することができます。 また、(参照)をかいウすると、バートに共有フォルダをたけ データストアがらパックック消滅 マシンを追加することもで きます。	บระ DNS #7 ก บ_~วะ	Windows Server 2012 R2 X84 かうス: ネットワーク/ローカル パス	
リモートは有フォルダを参照できなは場合、NDC ドライバが インストールをれていないが、ドフドレスが間違っている可 酸性があります。必要な場合には、以下を実行できます。 ここをリンサフォン、 ドライバのロードユーティリアで発動 します ここをリンサフォン、ネットワーク設定ユーティリアで発動 します	更新企 参照(い) ▼ 指定したマシンに以下の復旧ポイントが検出されました。復旧ポイントを1 っ選択した後、執行してください:		
	■ 1013/10/22 ■ 1013/10/22 ■ 101723 ■ 1097727 ■ 1017727 ■ 101772 ■ 1017727 ■ 101777 ■ 1017777 ■ 10177777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 1017777 ■ 10177777 ■ 10177777 ■ 10177777 ■ 101777777 ■ 10177777777 ■ 10177777 ■ 10177777777777777777777777	ス: へ 増減: ッゴ た <i>(現在のシステムかう後後):</i> m-=uti# <i>説明:</i> おした増分)パックアップ	
1 <b>個のネットワーク アダブラが快出されました</b> vmmet3 Ethernet Adgeter ードアドレス19216852140 ーステータス:接続道み	<b>メート ファー</b> - BIOS - <b>1/19 アップネ</b> - シスタムで - ウス (15 3- - D.X (25 M	<b>4分ェア:</b> れたおシューム(使用サイズ/会計サイズ/参要な最小サイズ): 下約該為(277 MB/350 MB/350 MB) 4 GB/12656 GB/1937 GB) Br/1021 MB/350 MB) V	
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		戻る個次へ(1)中止(2)	
パージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; ブート	ファー <u>ሌ</u> ウェア: BIOS		

手順 B: 復旧ポイント サーバからバックアップ イメージを参照する

①ネットワークが正しく設定されていることを確認し、 [参照] - [復旧ポイントサーバから参照]をクリック します。

arcserve <sup>®</sup> <sup>b</sup>	are metal recovery				
ペアメタル復旧 (BMR) <i>ー 復田ポイントを選択します</i>	以下のパッケアップ済みマシンが検出されました:				
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ フ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復日ポイントが表示されます。統行するには、復 日ポイントを選択してください。	🗑 win-set	パックアップ情報 ホスト名:	win-agt		
注デフォルトでは、ローカル、ポリュームから後出されたパッ うアップ流みマシンのみがここじ以入とされます。新しい ムーパブル ディスクを提供なは接接朝知した後、(夏新) をりいかす なくてをジン けんを受賞することができます。 また、(参称) ドシリング ると、リモート共有 フォルグまたは データ スト アンド パック プルス マンンを追加することもで きます。		05: DNS サフィックス: ソース:	Windows ネットワー	: Server 2012 R2 X64 ・ク/ローカル パス	
リモート共有フォルダを参照できない場合、NO ドライバが インストールをれていないが、IP アドレスが開達っている可 地能があります、必要な場合には、以下を実行できます。 ここをリンクテネシ、ドライバタロードユーティリアで超動 します ここをリンりフォン、キットワーク論をユーティリアで短動 します	が 可 : : : : : : : : : : : : :				
	☐ 2018/10/22 ☐ 161734	AR ステータス:  - フル バックアップの研奏: - フル バックアップ - ビルロP4wm -=et# バックアップの説明: - カスネマイズを11を増分パ	<b>ステムから<i>枝出</i>た</b> ックアップ		^
1 個のネクトワーク アダプタが検出されました vmone13 Ethernet Adigter ードフドレス 13210852140 ーステータス 接続済み		<b>ブート ファームウェア:</b> - BIOS <b>パックアップされたポジェー</b> - システムです的演形 (2) - C¥(15.34 GB/12656 - D¥(25 MB/1021 MB)	<b>ム(使用サイズ/合計</b> 5 17 ME/350 ME/350 ME (GE/19.97 GB) (350 MB)	<b>ታ<i>ተズ/ 必要な最小サイ</i>;</b> 8)	D:
▲ ユーティリティ(山)			戻る(B)	次へ回	中止(A)
バージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; プート	ファームウェア: BIOS				

②[エージェントの選択]

復旧ポイントサーバのコンピュータ名およびアカウント情報を入力します。復旧ポイントサーバのコンピュー タ名を[ホスト名]に、管理者権限を持つユーザのアカウント名とパスワードを[ユーザ名]と[パスワード]にそ れぞれ入力します。入力が完了したら[接続]をクリックし、復旧ポイントサーバに接続します。

	ノードの選邦	R 💌
復旧ポイントサ <sup>、</sup> 取得します。	ーパ 認証情報を入力し、[接続] ポタンをクリッ	ケレてサーバに接続し、データ ストアおよびノードリストを
ホスト名:	udp-server 🗸	ポート: 801 4
ユーザ名:	administrator	לםל: ⊚HTTP ⊖HTTPs
パスワード	•••••	接続(N)
このサーバで保護	渡されているデータ ストアおよびノード:	
		0K(0) ++>20/(0)

③[エージェントの選択]

表示されたデータストア内のバックアップデータを選択します。エージェント経由でバックアップした場合、 コンピュータ名がエージェントとして表示されていますので、適切な対象を選び、[OK] をクリックします。

	ノードの選択	
復旧ポイントサ 取得します。	~パ 認証情報を入力し、【接続】 ポタンをクリック	してサーバに接続し、データ ストアおよびノードリストを
ホスト名:	udp-server 🗸 🗸	ポート: 8014
ユーザ名:	administrator	プロトコル: ⓒ HTTP 〇 HTTPS
パスワード	••••	接続0 <u>0</u> )
このサーバで保護	護され ているデータ ストアおよびノード	
	store 1 ARCSERVE01	
		OK(0) (4v)セル(0)

④[ベア メタル復旧 (BMR) - 復旧ポイントを選択します]

最新のバックアップを取得した日時が選択されます。[次へ]をクリックします。

arcserve <sup>,</sup> t	pare metal recovery			
ペア メタル復旧 (BMR) <i>- 復田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました:			
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ プ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。続行するには、復 旧ポイントを選択してください。	🗑 win-ast	パックアップ情報 ホスト名:	win-agt	
注デフォルトでは、ローカル ボリュームから快出されたパッ クラップ語のマシンのみがここじストとれます。新しいリ ムーパブル ディスクを接続または接続新聞した後、[更新] さりいのするにマシン ジストを変新することができます。 また、(号明)をかいかすると、バテート共有フォルダまたは デーシストアからパックアップ波みマシンを追加することもで きます。		DNS 1779972: DNS 1779972: Y-7;	Windows Server 2012 R2 X84	
リモート共有フォルダを参照できない場合、NO ドライバが インストールをわていないが、ドラアレスが開達などいる可 総性があります。必要な場合には、以下を実行できます。 こ <u>くさりかりすると、</u> ドライバタの「ドユーティリティを超動 します ここを <u>りかりすると、</u> キットワーク協定ユーティリティを超動 します	更新(B) 参紹(W) ▼ 指定しをマシンに以下の復旧ポイントが検出されました。復旧ポイントを1っ選択した後、執行してください:			
	☐ - <mark></mark>	AR ステータス:           -           -           フル バックアップル (現在のシステム)           パックアップル (現在のシステム)           - ENLOPEwn-attis           パックアップル (現在のシステム)           パックアップル (現在のシステム)	ФЭ <b>Ң</b> Ш): 1	
1 個のキクトワーク アダプタが快出されました wmonet3 Ethernet Adapter ードアドレス192166523140 ー ステータス: 接続道み		ブート ファームウエア: - BIOS パックアップされたポリューム (彼 - シスタムで予約選帯 (277 MB) - C単 (15.34 GB/1 26.65 GB/1 - D単 (25.46 GB/1 021 MB/350 M	<i>用サイズ/合計サイズ/必要な最かサイズ</i> : /350 ME/350 ME) 987 GB) ME)	
▲ ユーティリティ(山)			戻る(B) 次へ(N) 中止(A)	
バージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; ブート	ファームウェア: BIOS			

\*プラン作成時のバックアップ タスクでパスワードを設定している場合、セッション パスワードを入力する 必要があります。

(8) [ベア メタル復旧 (BMR) - 復旧モードの選択]

[高速モード]を確認し、[次へ]をクリックします。拡張モードを利用するとディスクの構成/サイズの変更 を行うことができます。

arcserve	bare metal recovery
ペアメタル復旧 (BMR) - <i>復旧モードの選択</i>	
	復旧モードを選択する
	● 高速モード(E) 高速モードでは、マシンのデフォルト設定を使用し、ユーザの操作を最小限に抑えてシステムを自動的に復旧できます。     さ     ・
	○ 拡張モード(D) 超基モードをは以下を知道を知力なってできます。このモードを使用すると、以下を実行できます。 ページのジョンムをはなどからジップスク上のダーションストア先を選択する。 再起動する前に、デバイス ドライバをインストールする。
	注:[次へ]をクリックすると、BMR ウィザードは、ソースマシン上に存在するパーティッシンと一致する、新しいパーティションをオンティネーションと作成します。そのとめ、デスティネーション、アシン上の既存のパーティションが接触とれ、新しいパーティションが接触とれる場合があります。
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )	<b>夏</b> る(B) 次へ(B) 中止(A)
バージョン 6.5.4175 更新 4 ピルド 1223; フ	ートファームウェア: BIOS

[次へ] 進めると、ディスク情報が削除されます。[はい] をクリックし、BMR を継続します。



#### (9)[リストア設定のサマリ]

復旧対象のドライブを確認し、[OK]をクリックします。

-ス ディスタ	デスティネーション ディスク		
/スケ/ポリューム リストア設定のサマリ:		1.0000000000	
ソース ポリューム	デスティネーション ポリューム	ディスク	
🚺 システムで予約済み (350 MB)	C:¥ (350 MB)	<u>ም</u> ィスク 0	
0:¥ (126.66 GB)	F:¥ (1 26.66 GB)	ቻ (ኢሳ ዐ	
	D-¥ (1001 MP)	# 17 5 1	

- \* [リストア設定のサマリ] 画面の下部にある「デスティネーション ボリューム」列に表示されるドライブ 文字は、Windows プレインストール環境(WinPE)から自動的に生成されているため、「ソース ボリュ ーム」列に表示されるドライブ文字とは異なる場合があります。ドライブ文字が異なっている場合でも、 データは問題なく適切なボリュームにリストアされます。
- \* [OK] をクリックするとベアメタル復旧が開始しますので、設定が適切でない場合には [キャンセル] を クリックし、設定をやり直してください。

(10) [ベア メタル復旧 (BMR) - リストア プロセスの開始]

リストアが開始されます。復旧が終わると、システムは自動で再起動されます。

再起動後、サーバにログインしシステムが正常に復旧していることを確認します。

arcserve <sup>®</sup> t	pare metal recovery				
ペアメタル車目(GMR) - リストア プロセスの部分 Oパージビ(は、テイスク/ボリュームのリストア設定のサマリ が表示されます。 注: GMR プロセスの完了後、サーバが再起始されていま す。Cのサーバからパウタアのジョブを案付することはお勧 りしません。EMR 機能をアストレているだけの場合は、再 DPRA(にてったかった、サービクを知らかに開始しかい)	リストア設定のサマリ リストア時日 ● リース ポリューム つステムで予約済み を現在のデスティネーション ディスク 0 ビリストアします ● リース ポリューム つぶ を現在のデスティネーション ディスク 0 ビリストアします ● リース ポリューム つぶ を現在のデスティネーション ディスク 1 ビリストアします	ステータス ま マテータス オ 完了 リストア中 未開始	進捗状況 100.0 <del>K</del> 21. <del>K</del>	スル~ブ9ト 675.14 MB/分 782.68 MB/分	
はかれたしましょう。 オクションを選択することを対象的します。 パウカック ジョブを発行する場合は、このオクションを選択 すると、再進約後に ニッシェント レービス 仇まびインス トールをれている場合は 復日ポイントリーパ サービス)を 手動で開始できます。 Windows F0 チート オフションを有効にすると、EMR の実 行後に含なる意味日本とはトラブルシューティングを実行す					
るがした思いたます。とこれは、F3 キャラオやしく Adome Directory Service Restore モードな起動する と、Active Directory Authoritative Restore 客変行で きます。	<ul> <li>✓ 復旧後、システムを自動的に再起動する(T)</li> <li>✓ 再起動後にエージェント サービスを自動的に開始しない(D)</li> </ul>				
	☐ Windows 8/Windows Server 2012 およびそれ以降の OS で、次回起動時に[詳細ブート オブション](F8)メニュービシステムをブート(D) 経過時間: 00:00:46				
[21] NI [288MB/13760MB] ソース ペーシック ポリューム ひぎ を現在のデスティネーション ディスク ひごリストアしています					
▲ ユーティリティ(U)	リ フート ポリュームが現在のデスティネーション ディスク 0 にリストアをれました。この	ディスケからシステムを起動 戻る(B)	りしてください。	.(N) 中止(A)	
バージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; ブート	ファームウェア: BIOS	L			

arcserve	bare metal recovery			
ペアメタル復旧 (BMR) <i>- 再起動の準備</i>				
	このシステムを自動的に再起動するには、(再起動)をクリックします。EMR ログ ファイルをすべて) 集する場合、アクティビティログ ユーティリティを提用できます。 ここを引いりするホーアウティビティログ コーティリティを起動します。 <b>システムが再起動するまで、あと 26 秒。</b> 再起動(E) キャンセルC) プート・ポリュームが現在のデスティネーション ディスク ロ CUストアを hました。この イスクから システムを超動して くだを い。	₽ <b>^</b> ▼		
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		戻る( <u>B</u> )	次へ(N)	中止(A)
バージョン 6.5.4175 更新 4 ビルド 1223; ブ	ートファームウェア: BIOS	44		

## 5. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、

ウェブサイトより確認してください。

## 5.1 製品情報および FAQ はこちら

Arcserve シリーズ ポータルサイト

https://www.arcserve.com/jp/

動作要件

https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja

注意/制限事項

https://support.arcserve.com/s/article/115000773286?language=ja

その他、技術情報など(エラー、情報、パッチダウンロード)

https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3pdWAC/arcserve-udp?language=ja

マニュアル選択メニュー:

https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3poWAC/arcserve-udpdocumentation?language=ja

## 5.2 トレーニング情報

無償トレーニング

半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。 どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。

(競業他社の方はお断りしております。)

https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/